


イーヌブー解放水面を広げる工事始まります



発行者
NPO 法人いけま福
社支援センター
電話：75-2870

池間湿原は、渡り鳥の重要な生息地であることから平成23年より国指定鳥獣保護区に指定されています。しかし、近年土砂の堆積や抽水性植物の繁茂により解放水面が減少しています。渡り鳥の利用しやすい環境を取り戻すために、環境省と宮古島市の協力により湿原内の土砂等を取り除き解放水面を広げる保全事業が6年間実施されます。



工事ははじまるにあたり沖縄奄美自然環境事務所の職員による住民説明会が今月9日(火)行われました。

池間湿原の再生と共に 島の再生を願って!

イーヌブーヌ ウブキ イーヌブーン タスキライー スマビトゥー イツディーツタイ
イーヌブーヌ ヒーチャガマ ヤランマイ ジャウフナイッター
ヒャーヌ シマリャーヒー クマカラマイ カマカラマイ
トウイヤ アツマリー フーハズ

池間湿原の恩恵を受け、池間湿原に助けられ島人は生きてきた
池間湿原が、少しでも再生できたなら
昔のように、あちこちから
鳥たちが集まってくるでしょう

全国初!! 第1回防災計画づくり

☆素晴らしい池間自治会☆

内閣府の地区防災計画の策定に向けた支援対象地区募集に応募したところ、なんと池間自治会は見事選ばれ、7月14日・防災センターで内閣府から派遣されたアドバイザーの跡見学園女子大学教授・鍵屋一先生をお迎えして第1回防災計画づくりの話し合いが行われました。まずは情報交換しました。鍵屋先生からのお話は、以下7点。

- 1、なぜ地区防災計画支援に取り組むのか
- 2、公助にも限界がある
(減り続ける自治体職員)
- 3、誰が逃げるのを支援したか
東日本大震災での教訓から
- 4、防災の正四面体
(タンスの下敷きになるな)
- 5、近所と公助の役割分担
- 6、地区防災計画とは市民の命を守る
「近助の計画」
- 7、地区防災計画がなくなると自助・公助等
これらのことを念頭に、今後話し合いが行われ令和2年3月には池間島の防災計画が出来上がります。

**自分たちの命は、
自分たちの手で守れるように!**

暑さに負けず元気いっぱい 夏休み!

夏休み前 7/14 宮古島市PTAソフトバレーボール大会に池間小中PTA 出場!!父母・教職員、子ども達に負けず結束を強めました。

「みんなのおうち」には毎日元気よく幼稚園生をはじめ小中学生も朝から夕方まで自由に集まりにぎやかです。よく食べよく寝てよく遊び島中でいろいろな体験や出会いをしています。



島の親子集まって BBQ や海遊びも♪



今後の予定 ▶8/6~10 関西学院フィールドワーク民泊研修 ▶8/7 タナバタ
▶8/13~15 シツグツ ▶8/19~24 大学コンソーシアム沖縄より夏休み大学生ボランティア来島

老人クラブからのお知らせ

老人クラブの舞踊講座が、6月から始まっています!

毎月第1, 2, 3火曜日 15~16時 池間公民館(無料)で行っています。

誰でも男女関係なく参加できます。沢山の参加待っています!

みんなでユンたくしながら楽しく火曜日夕方を過ごしましょう♪

生き生き教室
通信

「まさがんでい まいやみい はなっすうばーあすどー」

7月16日に離島振興総合センターの大ホールで、池間小中学校の意見発表大会が行われました。今年には小学生の5年生5名、6年生2名の計7名 中学生は1年生5名、2年生が4名、3年生が4名の計13名 合わせて20名の児童生徒が発表してくれました。会場では、保護者や生き生き教室の利用者の皆さんが見守るなか、小学生からの発表が始まりました。小学生の皆さんは自身の経験した事が多く発表されました。その反面、中学生は多様な発表がありました。スマホやゲーム依存の怖さ、命の大切さ、社会や自分の未来、そして二度と再び起こしてはならない過ち(戦争)。自身の経験等々中学生らしい豊富な内容でしたが、前をしっかりと見ず下を見たまま発表していたのが残念です。タイトルの言葉は生き生き教室のおばあさん達の異言同音です。

「話をするときは、しっかりと前をむいてしてください」

それでは、入賞者の発表です。

- 小学生の部
 - 優秀賞・・・平良美優(5年) 平良忠嗣(6年)
- 中学生の部
 - 最優秀賞・・・水田勝久(2年)
 - 優秀賞・・・奥平愛音(3年) 砂川寛大(1年)



おめでとうございます //